

ハイライトよねやま 6 1

(財)ロータリー米山記念奨学会
2005年3月11日発行

1. 寄付金速報 ~年度末に向けて

2月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約4千3百万円の減少でした。普通寄付金が2.1%減、特別寄付金が4.6%減です。今年度の寄付金目標は15億1千万円ですが、2月までの時点で達成率は約75%といまだ大変厳しい状況です。地区の寄付金データや資料のご希望がありましたら、どうぞご用命ください。今年度も残りあと4ヵ月、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 寄付金増進タスクフォース開催報告

2月9日(水) 常務理事会の委嘱を受けた「寄付金増進タスクフォース(作業部会)」がスタートしました。伊藤長英常務理事(第2510地区:北海道西部)が座長を務め、現ガバナー、ガバナー・エレクト、地区米山奨学委員長など、米山関係者から選出された10名の委員が、寄付金減少の原因を分析し、増進方策と今後の奨学事業について検討します。

第1回会議では、「地区での米山奨学金・表彰制度に関する状況調査」、「普通・特別寄付金の現状、分析」について協議し、活発な意見交換と提案がなされました。

速報! ロータリーの友4月号のよねやまだよりは、
「温かい寄付への感謝を表して」
長らく寄付増進の原動力となってきた**表彰制度と免税特典**について
特集いたします。ぜひご一読ください。

3. 2005年4月新規採用の米山奨学金合格者が決定!

2005学年度の米山奨学金の申込者は1,221名。その中から、全国の地区選考委員会による選考の結果、新規採用者486名の合格が決まり、3月3日に各大学担当者宛に合否通知を発送しました。

合格率を主な国籍別にみると、申込者数の多い中国は32.2%(申込者742名)で、韓国(49.7%:申込者155名)や台湾(44.1%:申込者93名)に比べて高い競争率でした。

今後、合格者には世話クラブとカウンセラーが選定され、5月に開催されるオリエンテーションを経て正式な米山奨学生となります。皆さまの地区・クラブでどうぞ温かくお迎えください。

4. 巣立つ奨学生に幸あれ! ~各地区で米山奨学生歓送会開催~

2月中旬から、各地区で奨学期間を終了する米山奨学生の歓送会が実施されています。ガバナーやガバナー・エレクト、理事など役員の臨席のもと、カウンセラーや指導教員も招かれて、華やかな雰囲気の中、奨学生一人ひとりに終了証が手渡されます。

各地区の米山奨学委員会では、それぞれ趣向を凝らしています。第2750地区(東京都西南部)では、人材ビジネス会社社長から『アジアの日系企業・最新人事情報』と題する記念講演が行われました。また、第2640地区(大阪府南部/和歌山県)では、ロータリアンと奨学生が壇上で混声合唱を披露しました。



歓送会で合唱を披露するロータリアンと奨学生(第2640地区)

5. 『2005学年度 米山奨学生ハンドブック』が発行されました



米山奨学生全員に配布する『奨学生ハンドブック』の2005学年度版ができあがりました。米山奨学生として守るべき約束・知っておくべき情報はもちろん、奨学生からよく寄せられる疑問と回答をまとめたQ & A、米山奨学生バッジの由来などが掲載されています。

また、巻末には、これまでホームページからダウンロードする形式だった米山奨学生からの各種届出用紙を添付しました。地区で行うオリエンテーションやカウンセラー研修会の際には、当ハンドブックをぜひご活用ください。

* 新規採用・継続者を含めて、奨学生には3月中に配布し、世話クラブ・カウンセラーにはクラブ事務所宛に4月末までにお送りします

6. 台湾に米山学友のガバナー誕生

第 3490 地区（台湾）の 2005-06 年度ガバナー・エレクトとして、元米山奨学生の許 國文氏【1975-77 年度奨学生 / 徳島大学医学部 / 世話クラブ：徳島 RC】が選出されました。許氏は、台湾・羅東市にある羅東博愛病院の副理事長で、羅東西ロータリークラブに所属しています。

2 月下旬にアナハイムで行われた R I 国際協議会では、日本人以外でただ一人、日本語セッションに参加。積極的に議論にも加わって、日本のガバナー・エレクトとの交流を大いに深めたとのこと。国際協議会でこのセッションのリーダーを務めた川尻政輝パストガバナー（第 2750 地区：東京都西南部 / パシフィック・イングループ）は、感動を込めて次のように語られました。

「日本人にとって、台湾はもともと親しみ深い国ですが、『台湾のガバナー・エレクトが元米山奨学生である』ということは、まったく質の異なった連帯感を生みます。単立った奨学生が同じ仲間として、同じ目標をにかけて母国の地区の運営をするまでになる、というのは、どれほど日本のロータリアンにとって事業の意義を身近に感じられることか。まさに、米山奨学事業の果たしてきた成果、事業の成長を実感できる大ニュースだと思います。

研修の最後に、私は参加者のガバナー・エレクトに次のようにエールを送りました。『101 年目のガバナーであるあなた方は、先輩たちが支援したアジアの人たちと同期の仲間として強い連帯をもてる、とても恵まれた時代のガバナーなのです』と。

昨年、今年と 2 年続けて、リーダーとしてアナハイムの国際協議会に参加しましたが、元米山奨学生のガバナー・エレクトが自分のクラスに入って、研修を共にできたというのは、私にとって最も感動した出来事でした」

なお、元米山奨学生のガバナー誕生は、韓国の林 隆義氏【ソウル市・恵聖総合病院院長（漢城 RC 所属） / 1997-98 年度第 3650 地区 P.G.】に次ぐ 2 人目で、台湾では初の快挙です。

7. 米山奨学会理事 花岡和雄氏（2600 地区）逝去

国際ロータリー第 2600 地区の米山理事 花岡和雄氏が、3 月 1 日にご逝去されました。享年 78 歳でした。花岡理事は、1992-93 年度の同地区パストガバナーで、2001 年 8 月から当会理事となられ、任期は 2005 年 8 月までの予定でした。2003 年 7 月からは、米山奨学委員長としてもご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：^{みね} 峯・^{のう} 野津・^{おおは} 大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/